

タスマニアで学んだこと～日本とオーストラリアの医療制度の違いについて～

香川県立丸亀高等学校
普通科 2 年 大林 みらい

私は今回のオーストラリアタスマニア派遣事業で、日本とオーストラリアの医療制度の違いについて学んできました。日本の医療制度は、国民全員が公的医療保険に加入し、一人一人が保険料を出し合い、お互いの医療費を支え合う「国民皆保険」、医療機関を自由に選べる「フリーアクセス」、診察を受け注射や手術、薬を投与されることなどの医療を窓口での一部負担金のみで受けられる「現物（医療サービス）給付」の3つの大きな特徴があります。

オーストラリアの医療制度には、「Medicare（メディケア）」という公的医療保険があり、財源は税金で、国民、永住者、一部のビザ保持者が対象者です。これは、日本の「国民皆保険」と同様の制度といえると思います。しかし、医療機関へのフリーアクセスの仕組みは少し異なりました。オーストラリアでは公立病院と私立病院の違いが明確だったからです。

オーストラリアの公立病院は、「Medicare」で、州によって異なりますが医療費は無料または低額で治療を受けることができます。タスマニア州は無料でした。診察の流れとして、はじめは必ず GP を受診し、必要に応じて GP に専門医を紹介してもらいます。GP は、総合診療医、かかりつけ医などと訳され、内科、小児科、産婦人科など、幅広く診ていきます。無料または低額ですが、待ち時間が長く、人気の診療科や手術は数か月から 1 年以上待つこともあるそうです。

一方、私立病院は、一部「Medicare」と、民間の医療保険で負担を軽減することができますが、ほとんどが自己負担で高額です。直接専門医に受診し、待ち時間が短く、すぐに専門医による手術が受けられるというメリットがあります。

私は、ホストファミリーに、日本の保険証にあたる「Medicare カード」を見せていただきました。緑色で、(9 ケタの家族番号+最後の 1 ケタが個人それぞれの番号) となっている家族用カードでした。家族用カードは家族全員で共用できます。日本と同様に個人用のカードを持つことも可能だそうです。

救急時の対応についてもホストファミリーにお聞きしました。救急車を呼ぶ際の電話番号は「000（トリプルゼロ）」で、警察、消防、救急すべてこの番号です。救急の時はアンビュランスと伝えます。救急車の費用は州によって異なり、タスマニア州では無料ですが、1000 ドル以上かかる州が多いです。多くの人は、救急車保険や民間保険に加入し、負担を軽減しています。救急外来では必ず公立病院に搬送され、公立病院にある「Emergency Department (ED)」で診察されます。Medicare で基本無料で、患者は病院に到着後、重症度によって診察する順番の優先順位が決まるそうです。

私は、ホストファミリーからこれらのことを教えていただいて、両国の医療制度に共通点も相違点もあると感じました。特にオーストラリアの公立病院と私立病院の役割が大きく

異なっていることが興味深かったです。また、日本は警察と消防・救急は異なる番号ですが、オーストラリアは全て同じであることに驚きました。救急車保険という日本にはない保険があることも知りました。タスマニア州は、無料で公立病院の診察を受けたり救急車を呼んだりすることができるという聞き、暮らしやすい州だと思いました。

医療以外にも研修中に気づいたことがたくさんありました。

まず、学校での授業の履修についてです。日本の高校生は、主要5教科に加えて、体育、情報、芸術、総合など多くの教科を勉強しますが、ホバートカレッジでは、自分で勉強する科目を4科目又は5科目選ぶシステムでした。授業は90分の3限又は4限の時間割になっていて、日本の大学に近いと感じました。

また、日本語クラスの学生に、知っているJ-POPの曲はありますかと質問したところ、Creepy Nutsの曲が人気でした。Netflixで配信されている日本のアニメの主題歌を歌っているからだそうです。K-POPの人気も予想以上に高く、日本と同様にK-POPを知らない人はほとんどいませんでした。私もK-POPが好きで普段からよく聴いているので、現地の学生と話が弾みました。

ホバートの街でも発見がありました。特に驚いたのは走っている車のほとんどが日本車だったことです。ホストファミリーの車もレンタカーも日本車でした。そして、日本料理店もとても多く、寿司、天ぷら、とんかつ、うどんなどが気軽に食べられる環境でした。私が行ったすべてのカフェに必ず抹茶ラテがありました。オーストラリアで日本文化が受け入れられているようで嬉しかったです。

今回の経験を生かし、将来に向けて、国際理解を深めることを大切にしていきたいです。貴重な機会をいただき、大変ありがとうございました。



▲8月13日 ホバートカレッジお別れ会にて茶道を披露